

プレスリリース

報道関係者各位

2025 年 6 月 17 日

NExT-e Solutions 株式会社

EV の使用済み電池を活用した「那須塩原蓄電所」稼働準備開始

～バッテリーリユースによる持続可能なエネルギー社会の実現へ～

NExT-e Solutions 株式会社（以下、NExT-eS、本社：東京都世田谷区、代表取締役：井上真壮）は、栃木県那須塩原市にて、EV の使用済み電池をリユースした系統接続型蓄電施設「那須塩原蓄電所」（出力 1,000kW、蓄電容量 4,000kWh）の本年度中での本格稼働を目指します。

EV の使用済み電池をリユースすることで資源の有効活用と環境負荷の低減を目指し、蓄電システム普及を促進するための実証を進めます。



【設備概要】

所在地	栃木県那須塩原市
出力	1,000kW
蓄電容量	4,000kWh
電池方式	リチウムイオン電池（リユース蓄電池※）※中国にてEVでの使用を終えた電池パック
備考	ゼロエミッション東京の実現に向けた技術開発支援事業

■ 社会的意義のある EV 用電池のリユースを実現

「那須塩原蓄電所」は、当社が初めて自社保有により系統連系し、稼働を開始する蓄電所です。本蓄電所の蓄電池は、EV の使用済み電池をリユースしています。

EV 用電池をリユースすることで、資源の有効活用と環境負荷の低減を実現し、蓄電システムの普及拡大を通じて持続可能なエネルギー社会に貢献します。

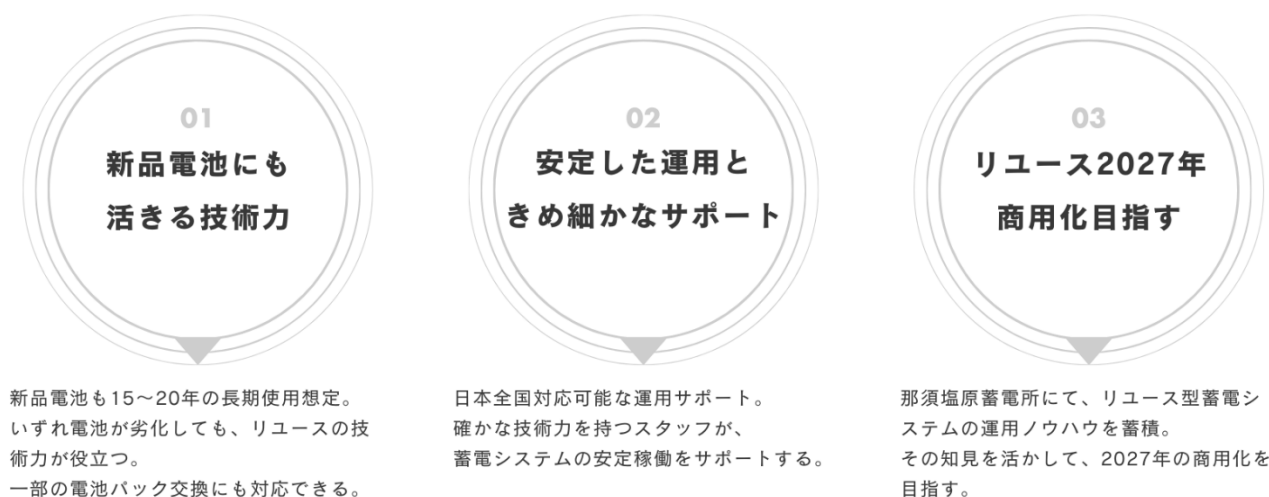
今後は那須塩原蓄電所の運用ノウハウを基に、2027 年度を目途に商用化を目指します。

■リユース型蓄電システム実現までの歩み

過去の研究開発や実証実験において、「技術的課題」、「コスト課題」をクリアしてまいりました。系統用蓄電池のような大型へのスケールアップは、リユース型蓄電システムの普及促進に向けた重要な第一歩です。

リユース型蓄電システム実現のための課題		
技術的課題	コスト課題	スケールアップ課題
劣化度合いの異なる電池の制御が課題。東京電力パワーグリッド株式会社との共同実証試験にて、3,000サイクル以上の充放電に成功し、解決済。	EV用から蓄電用への転用時のコストが課題。電池パックを分解せず、回路交換のみで再利用可能な手法を確立、大幅なコスト削減を実現。	今回、那須塩原蓄電所の運用において、系統用蓄電所へのスケールアップを検証します。

NExT-eSの特徴



【会社概要】

会社名：NExT-e Solutions 株式会社（ネクストイーソリューションズ）

代表者：代表取締役 井上 真壮

所在地：東京都世田谷区若林一丁目18番10号 京阪世田谷ビル6F

設立：2008年5月

URL：<https://www.nextes.jp/>

NExT-e Solutions 株式会社は、“持続可能なモノづくりで、未来永劫続くエネルギーサービスを実現する”をビジョンに掲げ、エネルギー問題解決と環境保護とともに実現する未来の創造を目指します。

BMS（バッテリーマネジメントシステム）、モビリティ用電池パック、系統用蓄電システムを取り扱っております。

また、システムの運用管理を自社で一貫して行っており、蓄電システムの導入を検討している企業・自治体・投資家の皆さまに安定した運用ときめ細かなサポートを提供いたします。

【本件に関するお問い合わせ】

NExT-e Solutions 株式会社 広報担当：相原 美輝

TEL：03-5844-6011

Email：m.aihara@nextes.jp